

光と空気と水を生かす

Always With You



## 第85期 事業報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

 **ダイダン**株式会社



代表取締役会長  
兼最高経営責任者(CEO)

菅谷 節



代表取締役社長執行役員  
兼最高執行責任者(COO)

北野 晶平

株主の皆様には日頃より格別のご高配を

賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、第85期(平成25年4月1日～平成26

年3月31日)における事業の概要についてご

報告申し上げます。

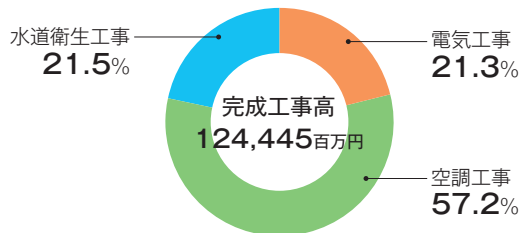
第85期におけるわが国経済は、雇用及び所得環境の改善による個人消費の増加に加え、先進国を中心とした海外景気の回復と、円安による輸出採算の向上に伴い、製造業を中心に生産活動が増加する等、企業収益に緩やかな回復が見られました。

建設業界におきましては、企業収益の回復によって、民間設備投資に持ち直しの兆しはあったものの、依然として、企業の投資マインドは慎重な姿勢が続くなか、景気は本格的な回復には至りませんでした。

このような状況のもと当社グループの受注工事高は、前連結会計年度比6.2%増(74億1千3百万円増)の1,273億9千4百万円となりました。その部門別内訳は、電気工事22.6%、空調工事59.1%、水道衛生工事18.3%であり、主な受注工事は、日本橋一丁目プロジェクト 空調・水道衛生工事、明石駅前南地区第一種市街地再開発事業施設棟 空調工事、広島赤十字・原爆病院 空調工事、富山村田製作所C3棟 空調・水道衛生工事、医療法人相生会福岡みらい病院 空調・水道衛生工事などです。

完成工事高につきましては、前連結会計年度比2.1%増(25億2千5百万円増)の1,244億4千5百万円となりました。その部門別内訳は、電気工事21.3%、空調工事57.2%、水道衛生工事21.5%であり、主な完成工事は、神奈川県立がんセンター特定事業病院施設

## セグメント別完成工事高比率



空調・水道衛生工事、南海会館建替先行 電気・空調・水道衛生工事、市立四日市病院病棟増築既設改修 空調工事、香川県立中央病院 空調工事、沢井製薬関東工場新工場 空調工事などです。

この結果、次期への繰越工事高は、前連結会計年度比3.7%増（29億4千8百万円増）の827億1千6百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は前連結会計年度比51.7%増（14億2千1百万円増）の41億7千1百万円となりました。経常利益は前連結会計年度比36.4%増（11億9千2百万円増）の44億7千1百万円となりました。この結果、当期純利益は前連結会計年度比4.5%増（7千1百万円増）の16億7千万円となりました。

今後の見通しにつきましては、企業収益の回復により民間設備投資の増加が期待されるものの、消費増税による景気への一時的な影響や海外の政治情勢の不安定さなど経済活動の減速、企業収益の縮小など不透明な状況がづくものと予想されます。

建設業界におきましては、建設需要が堅調に推移するものと思われませんが、資機材の高騰や労働力の確保の問題があり、収益環境は予断を許さない状況が続くと予想されます。

当社は、平成26年3月4日、北陸新幹線の設備工事

の入札に関し、独占禁止法違反の容疑により東京地方検察庁より起訴されました。これに伴い、3月10日に国土交通大臣より勧告を受け、法令遵守の徹底等、社内体制の整備及び再発防止に係る具体的な措置について、4月9日に報告を行いました。

このような事態に至りましたことは誠に遺憾であり、多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを心からお詫び申し上げます。

当社は、平成26年4月9日付で「独占禁止法違反容疑に関する再発防止策の策定に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、コンプライアンス体制の見直しと再発防止策を実施してまいります。

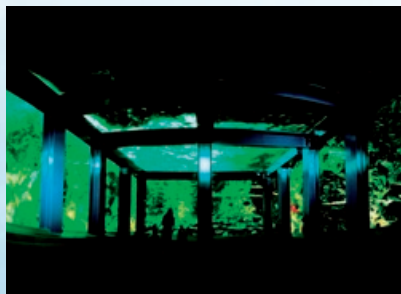
当社グループといたしましては、この状況に対し、総合設備業者として会社の発展を継続していくために、中期経営計画の戦略・施策を推進することで収益の確保ならびに将来の成長に向けた経営基盤の強化を推進し、企業の付加価値を高めてまいります。

戦略・施策の推進による収益力の強化はもちろんのこと、安全・品質への取り組みを強化し、環境保全に寄与するとともに、更なるコンプライアンスの徹底を図ってまいります。

今後とも株主の皆様には、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

工事部門	前期繰越工事高	受注工事高	完成工事高	次期繰越工事高
電気工事	11,089 (百万円)	28,808 (百万円)	26,528 (百万円)	13,370 (百万円)
空調工事	47,777	75,277	71,134	51,921
水道衛生工事	20,900	23,307	26,783	17,425
計	79,767	127,394	124,445	82,716

ダイダンは、「光と空気と水を生かす」企業です。  
建物の電気設備、空調設備、給排水衛生設備をトータルに  
コントロールして、快適空間を創造します。



供給設備  
処理設備  
消火設備  
特殊衛生設備

空気

ビル空調設備  
産業空調設備  
自動制御設備  
特殊空調設備



ダイダン株式会社

水



光

電力設備  
情報通信設備  
防災設備  
特殊電気設備



## 第85期(2013年度)完成工事



南海会館建替先行  
電気・空調・水道  
衛生工事

市立四日市病院  
病棟増築既設改修  
空調工事



神奈川県立がんセンター  
特定事業病院施設  
空調・水道衛生工事



香川県立中央病院  
空調工事



沢井製薬関東工場新工場  
空調工事

## 第85期(2013年度)受注工事

日本橋一丁目プロジェクト 空調・水道衛生工事

明石駅前南地区第一種市街地再開発事業施設棟 空調工事

広島赤十字・原爆病院 空調工事

富山村田製作所C3棟 空調・水道衛生工事

医療法人相生会福岡みらい病院 空調・水道衛生工事

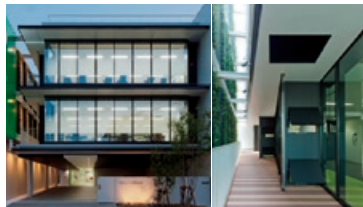
## ダイダンの技術力

建築環境・省エネルギー機構

**第5回サステナブル建築賞「国土交通大臣賞」受賞**

空気調和・衛生工学会

**第28回振興賞「技術振興賞」受賞**



六合エレメック本社ビル、  
および、その空気調和・衛生設備

中規模オフィスにおける省エネルギーを  
阻む課題を解決する「エコモデル」の提案

サステナブル建築賞は、建築物として優れた作品であるとともに、環境負荷低減、省エネルギーに成果をあげた先導的な建築物を表彰するもので、当社施工の「六合エレメック本社ビル」が、建築総体としてのサステナブル建築を造る設計姿勢を高く評価され、受賞に輝きました。

また、この建物の空気調和・衛生設備も、空気調和・衛生工学会 第28回振興賞「技術振興賞」を受賞。特に、パラフィン系潜熱蓄熱材の利用技術と新たな適用手法が高く評価され、その業績が認められました。

コージェネレーション・エネルギー高度利用センター

**平成25年度**

**コージェネ大賞「優秀賞」受賞**



札幌医科大学  
ESCO事業におけるCGS導入

コージェネシステム  
ガスエンジンCGS:930kW×2台

コージェネ大賞は、コージェネレーションシステムの社会認知と普及販促のため、優れたシステムを表彰するものです。今回、札幌医科大学ESCO事業で納入したコージェネレーションシステムで、その先導性・省エネルギー性などが評価され、民生用部門において「優秀賞」に輝きました。

## ダイダンの社会貢献活動

### エコキャップ活動

ペットボトルのキャップを回収し、エコキャップ推進協会を通じてキャップのリサイクル売却費を「世界の子供にワクチンを日本委員会」へワクチン代として寄付します。2013年4月～2014年3月には352人分のワクチンに相当する約30万個のキャップを回収し寄付しました。



### 地域の清掃活動

「信濃川クリーン作戦」「千代田区一斉清掃の日」「大阪市まち美化パートナー」「広島平和公園一斉清掃」「福岡城内クリーンアップ作戦」など。全国各地の事業所で身近な地域での清掃活動に継続的に参加しています。



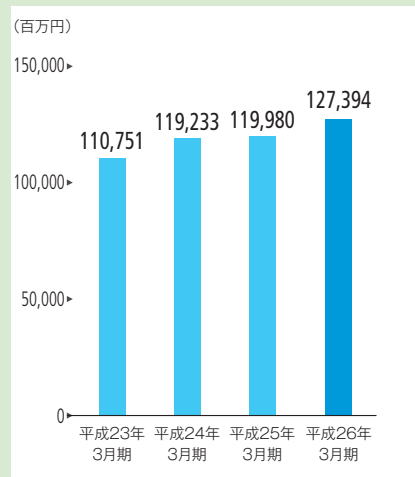
### 巻心ECOプロジェクト

事業所や現場事務所に回収ボックスを設置して、使い終わった粘着テープの巻芯を集めました。その回収されたものは、ダンボールにリサイクルされます。またその売却した収益は、マングローブの植樹活動に活用されています。

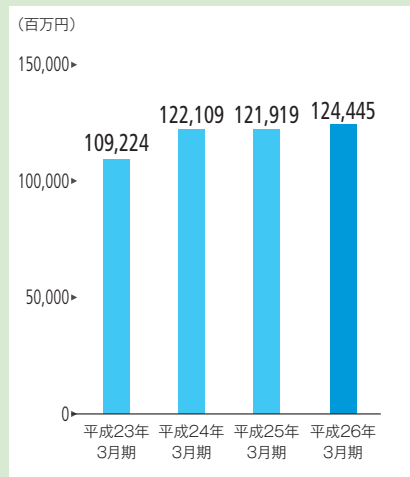
### チャリティーカレンダー市

全国の事業所で使用しない不要となったカレンダー・手帳(1,674点)を日本災害救援ボランティアネットワーク主催のチャリティーカレンダー市へ寄付しました。今回の総売り上げ1,559,385円は、災害の被災者の直接支援活動資金などに活用されます。

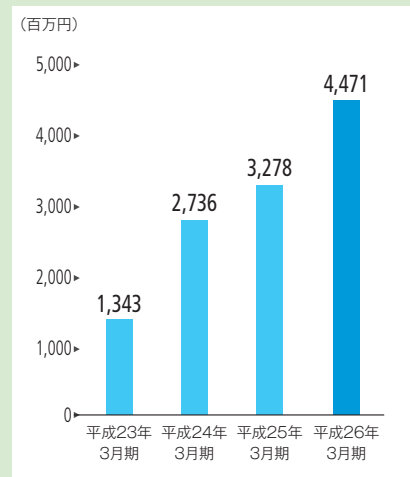
## ● 受注工事高



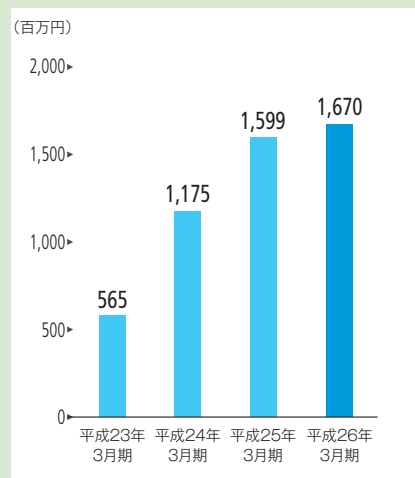
## ● 完成工事高



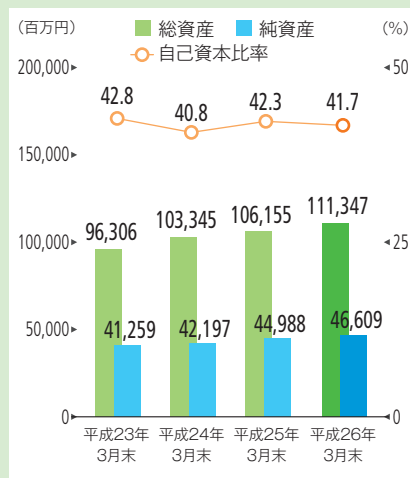
## ● 経常利益



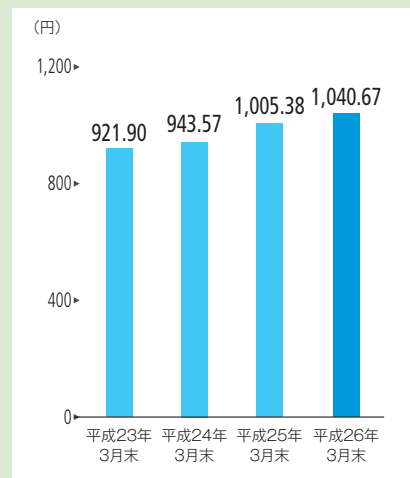
## ● 当期純利益



## ● 総資産・純資産・自己資本比率



## ● 1株当たり純資産額



## ● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度末 (平成26年3月31日現在)	前連結会計年度末 (平成25年3月31日現在)
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	24,626	22,447
受取手形・完成工事未収入金	57,189	56,324
有価証券	—	49
未成工事支出金	152	314
材料貯蔵品	0	0
繰延税金資産	1,273	1,003
その他	2,488	2,446
貸倒引当金	△ 6	△ 6
<b>流動資産合計</b>	<b>85,724</b>	<b>82,581</b>
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	3,788	3,970
無形固定資産	260	417
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	13,229	11,007
繰延税金資産	1	2
前払年金費用	—	6,587
退職給付に係る資産	6,921	—
その他	2,086	2,222
貸倒引当金	△ 665	△ 632
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>21,574</b>	<b>19,186</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>25,623</b>	<b>23,574</b>
<b>資産合計</b>	<b>111,347</b>	<b>106,155</b>

科 目	当連結会計年度末 (平成26年3月31日現在)	前連結会計年度末 (平成25年3月31日現在)
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形・工事未払金	40,007	39,979
短期借入金	5,686	6,251
未払法人税等	1,381	788
未成工事受入金	3,124	2,435
完成工事補償引当金	92	100
工事損失引当金	130	391
独占禁止法関連損失引当金	771	—
その他	7,346	6,458
<b>流動負債合計</b>	<b>58,539</b>	<b>56,405</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,903	1,378
繰延税金負債	2,304	1,455
退職給付引当金	—	1,328
退職給付に係る負債	1,398	—
環境対策引当金	220	220
海外投資損失引当金	18	2
長期未払金	352	376
その他	0	0
<b>固定負債合計</b>	<b>6,197</b>	<b>4,761</b>
<b>負債合計</b>	<b>64,737</b>	<b>61,167</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,809	4,809
利益剰余金	34,597	33,774
自己株式	△ 666	△ 660
<b>株主資本合計</b>	<b>43,221</b>	<b>42,403</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	3,690	2,412
為替換算調整勘定	68	40
退職給付に係る調整累計額	△ 559	—
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>3,199</b>	<b>2,453</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>189</b>	<b>131</b>
<b>純資産合計</b>	<b>46,609</b>	<b>44,988</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>111,347</b>	<b>106,155</b>

### POINT▶▶▶ 連結貸借対照表

流動資産は85,724百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,143百万円増加いたしました。

主な要因は、現金及び預金の増加(2,178百万円)及び受取手形・完成工事未収入金の増加(865百万円)等によるものです。

固定資産は25,623百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,049百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の増加(2,221百万円)等によるものです。

流動負債は58,539百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,134百万円増加いたしました。

主な要因は、未払法人税等の増加(593百万円)、未成工事受入金の増加(689百万円)及び独占禁止法関連損失引当金の計上(771百万円)等によるものです。

固定負債は6,197百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,436百万円増加いたしました。

主な要因は、長期借入金の増加(525百万円)及び繰延税金負債の増加(849百万円)等によるものです。

純資産は46,609百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,621百万円増加いたしました。

主な要因は、当期純利益の計上(1,670百万円)及びその他有価証券評価差額金の増加(1,278百万円)等が剰余金の配当(847百万円)及び退職給付に係る調整累計額の計上(559百万円)等を上回ったことによるものです。



## ● 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
完成工事高	124,445	121,919
完成工事原価	110,307	109,177
完成工事総利益	14,137	12,742
販売費及び一般管理費	9,966	9,992
営業利益	4,171	2,749
営業外収益		
受取利息	16	15
受取配当金	181	162
不動産賃貸料	33	34
受取保険料	91	98
為替差益	155	383
その他	3	11
営業外収益合計	482	705
営業外費用		
支払利息	150	154
支払保証料	18	12
その他	13	10
営業外費用合計	182	177
経常利益	4,471	3,278
特別利益		
固定資産売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産除却損	0	49
固定資産売却損	4	—
投資有価証券評価損	0	—
ゴルフ会員権評価損	1	4
独占禁止法関連連損失引当金繰入額	771	—
海外投資損失引当金繰入額	17	—
特別損失合計	797	54
税金等調整前当期純利益	3,676	3,224
法人税、住民税及び事業税	1,781	1,007
法人税等調整額	184	574
法人税等合計	1,965	1,582
少数株主損益調整前当期純利益	1,710	1,641
少数株主利益	39	42
当期純利益	1,670	1,599

## ● 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	3,117	1,261
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 172	△ 740
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 892	△ 955
現金及び現金同等物に 係る換算差額	126	217
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	2,178	△ 215
現金及び現金同等物の 期首残高	22,420	22,635
現金及び現金同等物の 期末残高	24,598	22,420

### POINT▶▶▶ 連結損益計算書

完成工事高は、受注工事高の増加もあり、前連結会計年度比2,525百万円増の124,445百万円となりました。

完成工事総利益は、完成工事高の増加に加え、完成工事総利益率の改善により、前連結会計年度比1,395百万円増の14,137百万円となりました。

営業利益は、完成工事総利益の増加を受け、前連結会計年度比1,421百万円増の4,171百万円となりました。

経常利益は、為替差益が前連結会計年度比228百万円減となったものの、営業利益の増加を受け、前連結会計年度比1,192百万円増の4,471百万円となりました。

当期純利益は、特別損失として独占禁止法関連連損失引当金繰入額771百万円及び海外投資損失引当金繰入額17百万円等を計上し、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額及び少数株主利益を控除した結果、前連結会計年度比717百万円増の1,670百万円となりました。

### POINT▶▶▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末比2,178百万円増加し24,598百万円(9.7%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)  
営業活動の結果、増加した資金は3,117百万円(前連結会計年度は1,261百万円の資金の増加)となりました。

主な要因は、税金等調整前当期純利益の計上、未成工事支出金の減少及び未成工事受入金の増加等の資金の増加要因が、売上債権の増加及び法人税等の支払額等の資金の減少要因を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)  
投資活動の結果、減少した資金は172百万円(前連結会計年度は740百万円の資金の減少)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出及び投資有価証券の取得による支出等の資金の減少要因が、その他の固定資産の売却による収入等の資金の増加要因を上回ったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)  
財務活動の結果、減少した資金は892百万円(前連結会計年度は955百万円の資金の減少)となりました。

主な要因は、配当金の支払い等によるものです。

## ● 発行株式数及び株主数

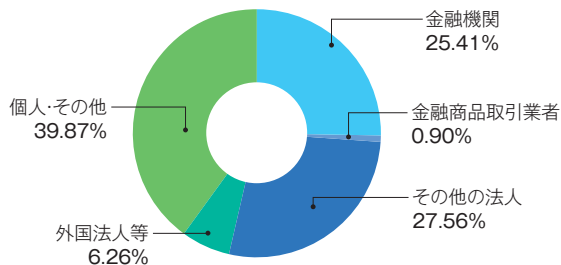
- 発行可能株式総数 ..... 80,000,000株
- 発行済株式の総数 ..... 45,963,803株
- 株主数 ..... 3,959名

## ● 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,947	4.36
東京大元持株会	1,855	4.15
有楽橋ビル株式会社	1,826	4.09
大阪大元持株会	1,686	3.78
ダイダン従業員持株会	1,541	3.45
HSBC BANK PLC-MARATHON VERTEX JAPAN FUND LIMITED	1,528	3.42
三信株式会社	1,118	2.50
名古屋大元持株会	1,071	2.40
株式会社みずほ銀行	959	2.15
株式会社三井住友銀行	954	2.13

(注) 1. 当社は、自己株式1,357,727株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は、自己株式1,357,727株を控除して計算しております。

## ● 所有者別分布



## ● 会社概要

社名	ダイダン株式会社
英文社名	DAI-DAN CO., LTD.
創業	明治36年3月4日
設立	昭和8年10月10日
所在地	<本店・大阪本社>大阪市西区江戸堀1丁目9番25号 <東京本社>東京都千代田区富士見2丁目15番10号
資本金	4,479,725,988円
事業内容	電気工事、空調工事、水道衛生工事の設計、 監理、施工並びにこれらに関連する事業
従業員数	1,472名

## ● 役員一覧 (平成26年7月1日現在)

代表取締役会長兼最高経営責任者	菅 谷 節
代表取締役社長執行役員兼最高執行責任者	北 野 晶 平
取締役専務執行役員	河 久 保 弘 和
取締役専務執行役員	藤 澤 一 郎
取締役専務執行役員	太 田 隆
取締役常務執行役員	森 英 高
取締役常務執行役員	櫻 井 丈 士
取締役執行役員	逢 坂 美 智 勝
取締役執行役員	吉 田 一 也
取締役執行役員	荻 野 憲 雄
取締役執行役員	古 新 亮 英 一
常勤監査役	櫻 木 修 郎
常勤監査役	安 東 憲 二 郎
監査役	土 川 章
監査役	北 村 八 朗
主席執行役員	西 内 義 充
主席執行役員	多 島 剛
上席執行役員	近 藤 末 義
上席執行役員	大 津 久 志
上席執行役員	平 井 政 志
上席執行役員	清 水 登
執行役員	山 根 明
執行役員	大 平 哲 也
執行役員	塩 谷 眞 富
執行役員	大 橋 重 男
執行役員	岩 崎 正 裕
執行役員	池 田 隆 之

30 本店

31 大阪本社

32 天理支店

33 神戸支店

34 京都支店

35 和歌山営業所

36 滋賀営業所

37 岡山支店

38 中国支店

39 山口営業所

40 山陰営業所

41 四国支店

42 松山営業所

43 高知営業所

44 徳島営業所

45 九州支社

46 熊本支店

47 宮田営業所

48 佐賀営業所

49 長崎営業所

50 大分営業所

51 宮崎営業所

52 鹿児島営業所

53 沖縄営業所

11 技術研究所

12 東京本社

13 関東支店

14 横浜支店

15 群馬営業所

16 栃木営業所

17 茨城営業所

18 千葉営業所

27 北陸支店

28 富山営業所

29 福井営業所

19 名古屋支社

20 豊田支店

21 三河営業所

22 長野営業所

23 松本営業所

24 静岡営業所

25 三重営業所

26 岐阜営業所

54 シンガポール支店

55 ホンコン支店

56 フィリピン支店

57 マレーシア支店

1 北海道支店

2 帯広営業所

3 函館営業所

4 東北支店

5 青森営業所

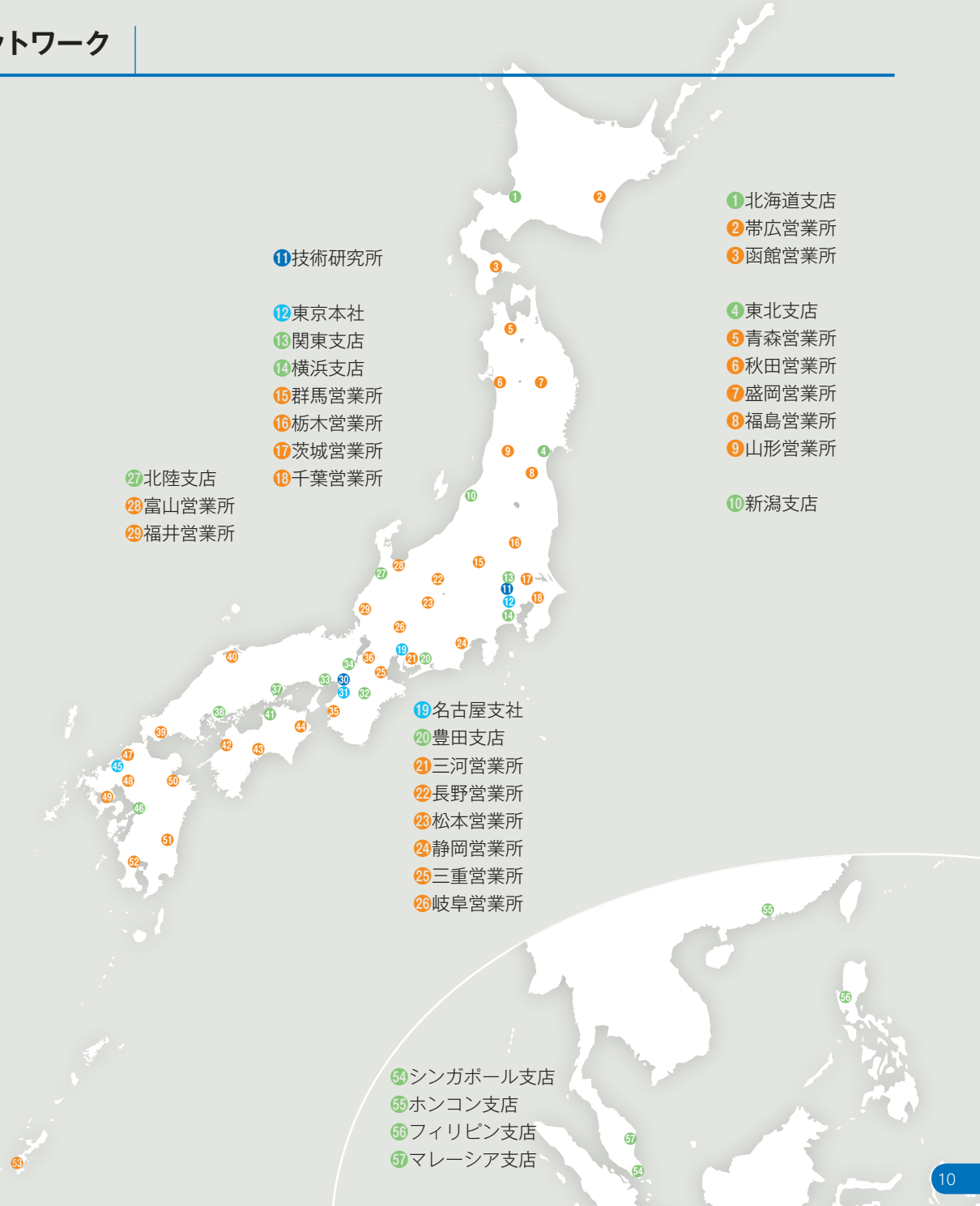
6 秋田営業所

7 盛岡営業所

8 福島営業所

9 山形営業所

10 新潟支店



## ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報をはじめとして当社の各種情報を公開しておりますのでご覧ください。



<http://www.daidan.co.jp/>

## 「CSR報告書2013」の発行について



企業の社会的責任(CSR)の考え方や実績をとりまとめた「CSR報告書2013」は下記のホームページよりダウンロードが可能です。

CSR報告書2013

<http://www.daidan.co.jp/csr/report.html>

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
1単元の株式の数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告により行います。 当社ホームページに掲載いたします。 ( <a href="http://www.daidan.co.jp/finance/koukoku/index1.html">http://www.daidan.co.jp/finance/koukoku/index1.html</a> )
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第1部



**ダイダン株式会社**

〒550-8520  
大阪市西区江戸堀1丁目9番25号  
電話 (06) 6447-8000